

| | | | |
|--------------|---------------|------------|---|
| 授業科目名 | 日本語 (2000008) | | |
| 時間割名 | 日本語 (25201) | | |
| 時間割担当 | 鳥谷善史 | | |
| 実施期 | 前期 | 単位数 | 1 |
| 曜日・時限 | 火・5 | | |

授業の目標・概要

留学生を対象とした科目である。社会生活に必要な総合的な日本語能力の定着を目指し、言語知識の習得と日本語能力の育成を図る。新聞、文学作品、詩、短歌、エッセイ、評論など、様々なジャンルの文章を読むことで、日常的な日本語表現への理解力を習得するとともに、大学の講義内容を理解する際に必要な読解能力を養成する。また、受講生が関心を持っている話題を随時紹介し、日本の社会や文化に関する情報を日本語で理解できることを目指す。

学習の到達目標

大学での講義における教科書や研究論文などの論理的文章を正確に読み解く能力の養成を目指す。前段階として、新聞や文学作品を読み、簡潔に要約できる技術の習得と日本の社会や文化を理解することを目標とする。文章読解が中心であるが、併せて語彙や文法の知識の習得も目指す。

授業方法・形式

講義形式

授業計画

- 第1回 授業内容の説明と評価方法について
- 第2回 新聞の読解と共に日本の社会や文化を理解する1
- 第3回 新聞の読解と共に日本の社会や文化を理解する2
- 第4回 文学作品の読解と共に日本の社会や文化を理解する1 (小説)
- 第5回 文学作品の読解と共に日本の社会や文化を理解する2 (小説)
- 第6回 文学作品の読解と共に日本の社会や文化を理解する3 (小説)
- 第7回 文学作品の読解と共に日本の社会や文化を理解する4 (詩歌)
- 第8回 文学作品の読解と共に日本の社会や文化を理解する5 (詩歌)
- 第9回 説明文・論説文の読解1
- 第10回 説明文・論説文の読解2
- 第11回 説明文・論説文の読解3
- 第12回 説明文・論説文の読解4
- 第13回 説明文・論説文の読解5
- 第14回 説明文・論説文の読解6
- 第15回 まとめの課題もしくは小テスト及びその解説

成績評価の基準

授業に取り組む態度40%、課題20%、提出物20%・試験20%

授業時間外の課題

毎回課題に関する小テストをおこなうので、予習・復習時間を十分に確保すること。

メッセージ

全授業回数の3分の1以上欠席した場合。または、課題を提出しなかったり、試験を受けなかった場合は、単位を認定しない。なお、遅刻は2回で1回の欠席とする。

受講者の理解度や興味により、授業計画の一部を変更することがある。

教材・教科書

適宜プリントを配付。

参考書

授業内で、適宜紹介する。